



読者のためのページです。酪農関係の御質問、本誌に対する御意見、御感想等どしどし御寄せ下さい。

草地改良をするには

問(一) 私の家は耕地面積が狭いので、耕地の周囲や道路のふち等を有効に利用して採草しており、肥料を施さないためか、あるいは刈取回数が多いためか、最近、収量が減じ、雑草が急激にふえてきました。優良草地にするにはどんな方法が良いでしょうか。また牧草の適品種もお知らせ下さい。

答 (一) やちたも木の生育する笹地を採草地に改良しようと思ひ、昨年より笹を刈取り、今年も八月に刈取りました。いよいよ牧草種子を播きたいと思ひますが、適品種と改良方法を御教示下さい。

(北海道紋別郡生田原町 秋田勝利)

一 路傍の草地改良

路傍や耕地の周囲の牧草を毎年刈取っているうちに、しだいに葉が小さくなり収量

が減じ、雑草がはびこってきたとのことで、それは当然考えられることで、牧草を播種して五、六年もたては改めて改良の手を加えなければなりません。

一般に、路傍や畦畔、堤防を耕起せずに草地改良する方法には、追播と移植との二方法があります。そのいずれを採るかはその土地条件と雑草の種類により決められます。

追播法

(イ) 貴地(寒冷地)では八月中旬に先ず雑草を地際から丁寧に刈取ります。(暖地では九月中旬〜十月上旬)

(ロ) 次に、石灰(炭カルで一〇坪当り二〇〇キ内外)と化学肥料を全面に撒布し、デスクハロー、カルチベーター、レーキ等で地表をかきまわし、土と肥料とが混じるようにします。肥料は一〇坪当り硫酸二〇キ、過石三〇キ、硫加一〇キくらいです。

(ハ) 牧草はマメ科とイネ科の混播にし、全面に均等に散播し、覆土のためにも一度レーキ、ハロー等をかけて種子が土によく接着するように行ない、最後に鎮圧しておきます。鎮圧の方法はローラーを用いるのが理想的ですが、足で踏みつけたり、レーキで抑えつけたるだけでも十分効果があります。

(ニ) 草地改良に適する牧草は、オーチャードグラス、ラデンクローバー、メドウフェスク、チモンシー、赤クローバー、アルサイクローバー、ペレニアルライグラス等がありますが、貴方の場合には次の混播例(各一〇坪当り)が適当でしょう。

路傍(頻りに刈取または繋牧)

ラデンクローバー

一〇〇キ

オーチャード

一〇〇

ペレニアルライグラス

一〇〇

耕地の周囲(青刈または乾草)

赤クローバー

一〇五

ラデンクローバー

一〇五

チモンシー

一〇〇

オーチャード

一〇〇

移植法

(イ) 移植は春に行なうのが好結果を得られ、前年か早春に苗仕立をしておいたものを用います。苗は小面積の苗床にマメ科イネ科を密混播しておきます。

(ロ) 前処理、施肥等は追播法に準じて行ない、三〇〜四〇日隔くらいに一つまみずつ苗を植えます。

以上で完了ですが、その後の管理が大切です。若い牧草が雑草に被圧されないように掃除刈を行ない、放置しっぱなしにならないように心がけるべきです。つまり牧草と雑草とは、刈取及び施肥を繰り返して行なうほど、両者の差は著しく開いてくることは御存知の通りです。

二 笹地の草地改良

笹地は他の雑草が少ないので草地改良を行ない易く、笹を刈取って(または火入れ)直ちに施肥及び牧草の播種を行なうだけでよく、失敗する例は殆どありません。

笹地改良の適期は時期が過ぎましたが寒冷地で八月中旬〜下旬(暖地で九月中、下旬)です。しかし、それより前の時期でも差支えありません。

笹をなるべく地際から刈取り、または延焼しないように区画して火入れを行ない、前記と同じくらいの化学肥料を散布し、もし土壌が強酸性の場合には石灰の散布も行ない、牧草を播種します。草種は貴方のところでは

ラデンクローバー

一〇〇キ

オーチャード

一〇五

チモンシー

一〇〇

が適当と思われませんが、さらに湿潤地ではメドウフェスク、アルサイクローバートを加味し、乾燥地では白クローバー、トールオートグラス、ケンタッキー31フェスク、バードフットトレフオイル等を組入れます。

そして、翌春から刈取りまたは放牧を行ないませんが、刈取りは草丈四〇〜六〇センチに行なうこと、放牧は過放牧に陥らないように特に注意しなければなりません。年間に三〜五回可能です。翌々年にも同量の施肥と収穫を実施すれば笹は次第に消失し良好な牧草地が出現いたします。

なお、樹木を伐採し切り株が残ることは、将来のために好ましくないので、なるべく掘り起すようにとめ、また、笹の切り口が家畜の足裏に刺さって痛める場合がありますので御注意下さい。

(上野幌育種場・かねこ)

×

×

×

×

×

×